

登録コード	HM137901	開講年度	2026					
授業題目	健康促進学論文演習					担当教員	友川 幸	
英文授業名	Thesis Seminar in Health Promotion Science					副担当		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年	
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	健康問題及び健康教育に関する研究を企画、実践するために求められる基礎的な知識を講義を通して習得するとともに、授業内で行う演習によって、実際に研究計画を立案できる技術を身に着ける。	
(2)詳細/Detailed information	健康問題及び健康教育に関する研究を企画、実践するために求められる基礎的な知識を講義を通して習得するとともに、授業内で行う演習によって、実際に研究計画を立案できる技術を身に着ける。							
(3)授業の概要/Overview of course	健康問題及び健康教育に関する研究論文を企画実践するために求められる基礎的な知識を概説する。具体的には、研究の枠組みや、研究課題の設定方法、研究計画書の作成法などを概説する。さらに、健康問題及び健康教育に関する研究で用いられる各種研究手法を紹介し、演習によって、実際の研究で用いる方法論や収集データの評価の方法、研究計画の作成の方法についての基礎的な知識を身に着けられるようにする。							
(4)授業計画/Course plan	1.オリエンテーション 2.健康問題及び健康教育に関する研究の枠組み 3.研究課題の設定の仕方、研究計画書の作成方法 4.健康問題及び健康教育に関する研究の方法論（量的研究） 5.健康問題及び健康教育に関する研究の方法論（質的研究） 6.健康問題及び健康教育に関する研究の方法論（介入研究） 7.論文の検索方法 8.システマティックレビューの方法について 9.システマティックレビューの演習 10.健康問題及び健康教育に関する研究の準備（先行研究の方法） 11.健康問題及び健康教育に関する研究の準備（研究手法と分析方法の設計） 12.健康問題及び健康教育に関する研究の準備（構造的質問紙の作成） 13.健康問題及び健康教育に関する研究の準備（半構造的質問紙の作成） 14.健康問題及び健康教育に関する研究の準備（研究計画書の作成演習） 15.研究計画書に関するプレゼンテーション							
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	研究計画書の作成（レポート）50点、プレゼンテーション50点 ・レポートの場合 (i)問題の設定が適切である。(ii)その問題の背景を説明できている(iii)提示された問題にどのような課題があるのかを指摘できている。(iv)提示された問題の課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている (v)自分の見解を提示できており、かつ、誤字脱字がなく、引用文献やデータの出所が明確である。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「卓越している」,4項目までできていれば、「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・プレゼンテーションの場合: (i)対象の課題が十分に理解されている,(ii)問題の設定が適切である,(iii)対象の興味や関心をひく内容になっている(iv)発表時間が適切に確保されている,(v)適切な発表が行われている。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「卓越している」,4項目までできていれば、「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。 得点率による評価基準は、90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下不可。							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep work/Textbook(s)/Reference work(s)	プレゼンテーションの資料に関しては、インターネットの情報のコピーや出所の不明瞭な情報を使用しないこと。履修にあたっては、健康問題や健康教育に関する研究の実施を予定していること、公衆衛生学を履修済みであることが望ましい。 eALPS上に次週の授業内容を掲載するので、ダウンロードして予習しておくこと。自宅学習では、専門書、新聞、ニュース、インターネットなどを用いて、授業で扱った内容や健康や安全、環境に関する情報や時事問題、研究論文について学習すること。授業内で十分に理解できなかった事項は、授業内で紹介する書籍などを用いて、自宅学習などを行い、補完・理解するように努めること。 テキスト、教材、参考書は特にしてしないが、適宜、授業内で必要に応じて紹介する。この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。							

(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	授業に関する質問は, 基本的に授業内で確認するようにし, 授業内で解決できなかった質問については、 sachitjp@shinshu-u.ac.jpにメールで質問すること。
(8)授業の形式 /Course format	講義及び演習